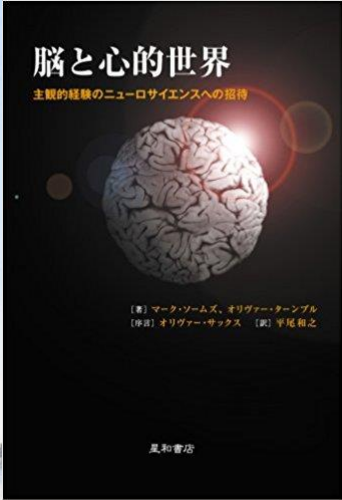




脳と心的世界

・・を用いた

心理臨床家のための ニューロサイエンス入門

・谷口臨床心理研究所
臨床心理士 谷口秀樹
HP:<http://www.geocities.jp/tslabo280918/>

Ver1.3 (2018.8.21)

この本は・・

脳と心的世界

ニューロサイエンス(脳神経科学)と精神分析が、それぞれ異なる視点からアプローチしてきた「心」の解明を統合して成立しつつある、**神経精神分析(ニューロサイコアナリシス)**という新しい学際的なアプローチの入門書です。

その経緯や理念などは、序言や第1章の冒頭、および、第10章に詳述されています。
・・この資料では省略します。

脳と心的世界(2007)

- ・出版社: 星和書店
- ・著者: マーク・ソームズ
オリヴァー・ターンブル(2002年)
- ・訳者: 平尾和之

- ・第1章: 基本的概念への導入
- ・第2章: 精神と脳
- ・第3章: 意識と無意識
- ・第4章: 情動と動機づけ
- ・第5章: 記憶と幻想
- ・第6章: 夢と幻覚
- ・第7章: 遺伝と環境
- ・第8章: 大脳半球の左右差
- ・第9章: 自己と「おしゃべり療法」
- ・第10章: これから、そして神経分析学

2

この資料では・・

この本に、非常に分かりやすく書かれているニューロサイエンスの説明を用いて、それを苦手とする心理臨床家をターゲットに、図を多用して概説していきます。

その過程で語られる心理的現象を、こうした観点から理解していきます。

私は精神分析家ではないので、精神分析に深く入っていく部分は省かせていただいています。

本の前半5章を再構成して、5つの項目で説明していきます。

前半は・・

- ・第1章: 基本的概念への導入
- ・第2章: 精神と脳
- ・第3章: 意識と無意識
- ・第4章: 情動と動機づけ
- ・第5章: 記憶と幻想

1. 脳の構造

2. 知覚と意味記憶

3. 行動と手続き記憶

4. 意識とエピソード記憶

5. 情動

3

各項目をクリックすると、その項目に移動します。
* 序は最初の説明に戻ります。

本の後半5章のうち6～9章を、表題を説明に合わせて変更してまとめていきます。
10章は神経精神分析についての歴史や詳しい説明であり、この資料では省略しますので、本の方をお読みください。

後半は・・

- ・第6章: 夢と幻覚
- ・第7章: 遺伝と環境
- ・第8章: 大脳半球の左右差
- ・第9章: 自己と「おしゃべり療法」
- ・第10章: これから、そして神経分析学

0. 序

1. 脳の構造

2. 知覚と意味記憶

3. 行動と手続き記憶

4. 意識とエピソード記憶

5. 情動

6. 夢と視覚

7. 遺伝と環境/性差

8. 言語／右脳と左脳

9. まとめ／心理療法

4